

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0024		
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月27日		(火)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	残Con処理場エリア						2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/3/5		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-GMAD-132	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ			B	02	D	B	15 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2								m ²			
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0418
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月27日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h								
	1	1	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/3/27 8:15	5 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/3/27 8:40	5 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09
①	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
			01 難燃物	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012911 - 0001	
作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年3月27日			(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事									
	発生場所	共用プール建 屋内、屋外						2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6	
	作業主管G	設備電源グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	サポート材、フレキ 他	B	01	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ケーブル屑	B	08	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	端子台、ブレーカー 他	B	03	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	木材 他	A	03	D	B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.04 mSv/h	
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 注1: F1-ICW-154/F1-ICWBL-92											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0419
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月27日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		サポート材、フレキ 他 ⑩	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/27 10:20	1.5 m ²			1
2	1		ケーブル屑 ⑩	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/27 10:20	0.1 m ²			1
3	1		端子台、ブレーカー 他 ③	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/3/27 10:20	0.5 m ²			1
4	1		木材 他	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/3/27 10:20	0.3 m ²			1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
C	難燃物	01	フランジタンク本体	02	フランジタンク付属品	03	—	04	—	05	—		
		01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	共用プール建屋内						2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/7	測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ケーブル屑			① B 08 D B	4 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	サポート材, フレキ 他			② B 01 D B	4 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
3	木材 他			③ A 03 D B	0.3 m	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h	
4					m					
5					m					
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 注1: F1-ICW-154/F1-ICWBL-92									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0420
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月28日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル屑 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 8:40	0.1 m			1
	2	1	サポート材, フレキ 他 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 8:40	4 m			1
	3	1	木材 他	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/28 8:35	0.3 m			1
									m			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事									
	発生場所	共用プール建 屋内, 屋外						2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6	
	作業主管G	設備電源グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	ケーブル屑		B	08	D	B	3 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	コンクリートガラ		B	02	D	B	0.1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	鋼材, フレキ 他		B	01	D	B	2 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	木材 他		A	03	D	B	0.3 m ³	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
5							m ³				

注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。
 注1: F1-ICW-154/F1-ICWBL-135

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0421
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月28日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル屑 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 10:30	3 m ³			1
	2	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 10:30	0.1 m ³			1
	3	1	鋼材, フレキ 他 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 10:30	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013102	-	0006
-------	---------	---	------

作業主 管 欄 メモ	保管希望日時		2018年3月28日				(水)		8:00		承認		審査		作成				
	作業件名		大型土壌運搬業務委託																
	発生場所		第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)										2018/3/6		2018/3/6		2018/3/6		
	作業主管G		廃棄物基盤グループ						監理員				TEL						
	元請会社								担当者				TEL						
線量測定年月日		2018/2/28		測定者				測定器名		ICW		管理番号		F1-ICW-120					
G		No.	保管物名				※カテゴリ		物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率		
記		1	コンクリートガラ				B	02	D	B	5	m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
入		2										m ³							
欄		3										m ³							
		4										m ³							
メモ		5										m ³							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																			

固体廃棄物管理G記入欄					受付	
受 付 番 号					2018/3/6	
廃2018	—	03	—	0425		
調整後保管日時			2018年3月28日		8:00	
【保管時の指示事項等】						

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアC	2018/3/28 8:05	5 m^3			1
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	大型土嚢運搬業務委託									
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	木材類	A	03	D	B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2						m ³					
3						m ³					
4						m ³					
5						m ³					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0426
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月28日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/28 8:40	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012909 - 0009

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月26日		(月)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 タンク水位計設置								
	発生場所	ヤード Bタンク廻り						2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6
	作業主管G	水処理・滞留水計装グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/3/5	測定者			測定器名	F1-SC		管理番号	109
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
1	プラスチック、ポリ袋			3 m	2 μSv/h	2 μSv/h	無			
2	ロープ類			1 m	2 μSv/h	2 μSv/h	無			
3				m						
4				m						
5				m						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0428
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック、ポリ袋	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/26 9:45	1.7 m			1
	2	1	ロープ類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/26 9:45	0.2 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ	保管希望日時	2018年3月26日		(月)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」									
	発生場所	1～4号機周辺					2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7		
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-350			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	アスファルトガラ			B	09	D	B	3 m ³	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h
2								m ³			
3								m ³			
4								m ³			
5								m ³			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0434
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/3/26 9:45	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ												
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月27日		(火)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
	発生場所	1～4号機周辺					2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-350		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	3 m ³	50 μSv/h	50 μSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0435
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月27日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/27 10:50	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
	発生場所	1～4号機周辺					2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/5	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-350
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	① ② ③									
1	保温材	B	06	D	B	1 m	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無	
2	シート類・ガラス	B	10	D	B	2 m	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無	
3						m				
4						m				
5						m				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0436
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月28日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 8:20	1 m			1
	2	1	シート類・ガラス ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 8:20	1 m			1
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013802 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」								
	発生場所	1～4号機周辺					2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-350
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	3 m ³	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0437
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月28日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 10:35	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」　B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013802 - 0001								
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	9:00		承認	審査	作成									
	作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」																
	発生場所	1～4号機周辺					2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7									
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL											
	元請会社					担当者	TEL											
測定内容	線量測定年月日	2018/3/6		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-350							
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率									
	1	金属ガラ	B	01	D	B	3 m ³	50 μSv/h	50 μSv/h	無								
	2						m ³											
3						m ³												
4						m ³												
5						m ³												
メ																		
モ																		
線量測定内容																		
測定日		2018年3月30日																
測定No.	氏名	測定器	管理番号															
1		ICW	F1-ICW-025															
2																		
3																		
4																		
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.						
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/30 8:20	3 m ³			1						
									m ³									
									m ³									
									m ³									
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																		
メ																		
モ																		
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										
	注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																	
	注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																	
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																		

瓦礫類 · 伐採木管理票

計上No.	6013802	-	0001
-------	---------	---	------

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月30日			(金)		11:30			承認		審査		作成		
	作業件名		平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」														
	発生場所		1～4号機周辺									2018/3/7		2018/3/7		2018/3/7	
	作業主管G		地下水調査グループ					監理員					TEL				
	元請会社							担当者					TEL				
線量測定年月日		2018/3/6		測定者					測定器名		ICW			管理番号		F1-ICW-350	
No.		保管物名			※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率	
					① ② ③												
1		金属ガラ			B 01 D B			2 m ²		50 μSv/h		50 μSv/h		無			
2								m ²									
3								m ²									
4								m ²									
5								m ²									

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—		
調整後保管日時		2018年3月30日		2018/3/7 11:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/30 10:30	2.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013101 - 0002	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月27日		(火)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(毎年度)									
	発生場所	K系排水路						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/6	
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/19	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	土砂類	B	04	W	A	8 m ³	0.01 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
4						m ³					
5						m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0440
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月27日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	25	μ Sv/h								
	1	1	土砂類 ⑩	5	μ Sv/h	25	μ Sv/h			エリアC	2018/3/27 12:20	8 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-5, 6T 滞留水貯留タンク基礎工事ならびに同関連除却工事								
	発生場所	Fエリア						2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/3/5	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-45
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③						
1	木材類	A	03	D	B	2 m ³	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	無	
2	可燃物その他	A	04	D	B	2 m ³	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3	不燃物その他	B	10	D	B	2 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4	不燃物その他	B	10	D	B	2 m ³	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
5	ゴム類	C	01	D	B	1 m ³	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0441
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月28日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-55
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/28 11:00	2 m ³			1
	2	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/28 11:00	0.1 m ³			1
	3	1	不燃物その他 ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/28 11:05	2 m ³			2
	5	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/28 11:00	0.05 m ³			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0006		
作業主管理	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F-5, 6T 滞留水貯留タンク基礎工事ならびに同関連除却工事										
	発生場所	Fエリア						2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6		
	作業主管G	滞留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
記入欄	線量測定年月日	2018/3/5	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	無		
	2	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
4	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無			
5	金属ガラ	B	01	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	無			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0442
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月30日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-55	
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/30 9:30	0.5 m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/30 9:30	0.4 m ²			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/30 9:30	0.8 m ²			1
	4	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/30 9:30	0.8 m ²			1
	5	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/30 9:45	1 m ²			2

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0017						
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	11:30		承認	審査	作成							
	作業件名	タンク減容・保管委託(H29)														
	発生場所	定検機材倉庫(A)						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7						
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL									
	元請会社					担当者	TEL									
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-221						
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
	1	フランジタンク付属品		B	12	D	B	3	m	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.025	mSv/h
	2	フランジタンク付属品		B	12	D	B	2	m	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.015	mSv/h
	3								m							
4								m								
5								m								
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0444
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月28日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	フランジタンク付属品	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/28 10:15	3 m ²			1	
	2	1	フランジタンク付属品	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/28 10:15	2 m ²			1	
										m ²			
										m ²			
										m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載													
メ モ													

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0017

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	タンク減容・保管委託(H29)								
	発生場所	定検機材倉庫(A)						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/21	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-221
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	フランジタンク付属品	B	12	D	B	3 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有 0.03 mSv/h
	2	金属ガラ	B	01	D	B	1 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有 0.02 mSv/h
	3	金属ガラ	B	01	D	B	1 m	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有 0.01 mSv/h
4						m				
5						m				
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0445
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月28日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク付属品	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	35 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/28 10:45	3 m			1
	2	1	金属ガラ	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	35 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/28 10:45	1 m			1
	3	1	金属ガラ	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	35 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/28 10:45	1 m			1
									m			
									m			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		D	伐採木											
		②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)														
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。														
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013202 - 0001	
作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年3月28日			(水)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	#1カパー工事(瓦礫撤去工事)									
	発生場所	1号機周辺ヤード					2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7		
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/23	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-31		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	不燃物：金属ガラ	B	01	D	B	3 m ³	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β有 0.008 mSv/h	
	2						m ³				
	3						m ³				
4						m ³					
5						m ³					
1) 金属ガラ内訳：鋼材・プレート・ワイヤー類・番線・ボルト・塗装空缶類(6m3コンテナ収納済)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0446
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月28日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h						
	1	1	不燃物：金属ガラ	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/28 10:00	3 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015502 - 0001																																																																																																															
作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月28日		(水)	13:00		承認	審査	作成																																																																																																															
	作業件名		雑固体廃棄物焼却設備修理工事																																																																																																																						
	発生場所		雑固体廃棄物焼却設備建屋						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7																																																																																																														
	作業主管G		廃棄物設備グループ				監理員	TEL																																																																																																																	
	元請会社						担当者	TEL																																																																																																																	
	線量測定年月日		2018/2/28		測定者		測定器名		TCS-172		管理番号	F1-SC-100																																																																																																													
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																											
	1		金属ガラ(鋼管ダクト)			B 01 D B		8 m ³		0.08 μ Sv/h		0.08 μ Sv/h	無																																																																																																												
	2		金属ガラ(弁箱カバー)			B 01 D B		0.2 m ³		0.08 μ Sv/h		0.08 μ Sv/h	無																																																																																																												
	3		金属ガラ(軸受、ホルトナット)			B 01 D B		0.1 m ³		0.08 μ Sv/h		0.08 μ Sv/h	無																																																																																																												
4		金属ガラ(板金材、番線くず)			B 01 D B		0.5 m ³		0.08 μ Sv/h		0.08 μ Sv/h	無																																																																																																													
5		保温材			B 06 D B		3 m ³		0.08 μ Sv/h		0.08 μ Sv/h	無																																																																																																													
写真添付(配管ダクト4本)																																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="14">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="12">2018年3月28日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="11">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="11">F1-ICW-025</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="11"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="11"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="11"></td> </tr> </tbody> </table>														線量測定内容														測定日		2018年3月28日												測定No.	氏名	測定器	管理番号											1		ICW	F1-ICW-025											2														3														4																							
線量測定内容																																																																																																																									
測定日		2018年3月28日																																																																																																																							
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																						
1		ICW	F1-ICW-025																																																																																																																						
2																																																																																																																									
3																																																																																																																									
4																																																																																																																									
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.																																																																																																		
	1		1		金属ガラ(鋼管ダクト) ⑩		5 μ Sv/h		5 μ Sv/h				エリアC		2018/3/28 12:30		5 m ³						1																																																																																																		
	2		1		金属ガラ(弁箱カバー) ⑩		5 μ Sv/h		5 μ Sv/h				エリアC		2018/3/28 12:30		0.2 m ³						1																																																																																																		
	3		1		金属ガラ(軸受、ホルトナット) ⑩		5 μ Sv/h		5 μ Sv/h				エリアC		2018/3/28 12:30		0.1 m ³						1																																																																																																		
	4		1		金属ガラ(板金材、番線くず) ⑩		5 μ Sv/h		5 μ Sv/h				エリアC		2018/3/28 12:30		0.5 m ³						1																																																																																																		
	5		1		保温材 ③		5 μ Sv/h		5 μ Sv/h				エリアC		2018/3/28 12:30		1 m ³						1																																																																																																		
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">※カテゴリ</th> <th rowspan="2">①</th> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06</th> <th colspan="2">07</th> <th colspan="2">08</th> <th colspan="2">09</th> <th colspan="2">10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" rowspan="3"></td> <td rowspan="3">B</td> <td rowspan="3">不燃物</td> <td colspan="2">01 金属ガラ</td> <td colspan="2">02 コンクリートガラ</td> <td colspan="2">03 機器類・制御盤類</td> <td colspan="2">04 土砂類</td> <td colspan="2">05 塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td colspan="2">06 保温材</td> <td colspan="2">07 石綿含有物</td> <td colspan="2">08 ケーブル類</td> <td colspan="2">09 アスファルトガラ</td> <td colspan="2">10 不燃物その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11 フランジタンク本体</td> <td colspan="2">12 フランジタンク付属品</td> <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> </tr> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td rowspan="2">C</td> <td rowspan="2">難燃物</td> <td colspan="2">01 ゴム類</td> <td colspan="2">02 難燃シート類</td> <td colspan="2">03 ホース類</td> <td colspan="2">04 難燃物その他</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2">01 伐採木</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03</td> <td colspan="2">04</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>②</td> <td>状態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③</td> <td colspan="2">履歴</td> <td colspan="4">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table>																								※カテゴリ		①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		06		07		08		09		10				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15				C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		01 伐採木		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05				②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			
	※カテゴリ		①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05																																																																																																											
						06		07		08		09		10																																																																																																											
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																													
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																													
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15																																																																																																													
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05																																																																																																													
				01 伐採木		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05																																																																																																													
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																															
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																																																																																																																									
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。																																																																																																																									
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																																																									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0010

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年3月26日		(月)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G1南エリアタンク設置工事									
	発生場所	G1南エリア						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/3/6		測定者			測定器名	電離箱式SM		管理番号	F1-ICW-117
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	ゴム類	C	01	D	B	0.5 m ²	2.5 μ Sv/h	2.5 μ Sv/h	無	
	2	難燃シート類	C	02	D	B	0.5 m ²	2.5 μ Sv/h	2.5 μ Sv/h	無	
3	ホース類	C	03	D	B	2 m ²	2.5 μ Sv/h	2.5 μ Sv/h	無		
4						m ²					
5						m ²					
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0448
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	1	ゴム類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/26 8:00	0.3 m ²			1
2	1	1	難燃シート類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/26 8:00	0.05 m ²			1
3	1	1	ホース類 (→H)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/26 8:00	1.2 m ²			2
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0010				
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月27日		(火)	8:00		承認	審査	作成					
	作業件名	G1南エリアタンク設置工事												
	発生場所	G1南エリア					2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7					
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL						
	元請会社				担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/3/6	測定者			測定器名	電離箱式SM		管理番号	F1-ICW-117				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率					
	① ② ③													
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2	m ²	2.5	μ Sv/h	2.5	μ Sv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2	m ²	2.5	μ Sv/h	2.5	μ Sv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	B	0.3	m ²	2.5	μ Sv/h	2.5	μ Sv/h	無		
4							m ²							
5							m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0449
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
1	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/27 8:00	1.4	m ²			1
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/27 8:00	0.5	m ²			1
3	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/27 8:00	0.3	m ²			1
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0010

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	G1南エリアタンク設置工事								
	発生場所	G1南エリア						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/3/6	測定者			測定器名	電離箱式SM		管理番号	F1-ICW-117
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	金属ガラ	B	01	D	B	0.5 m ³	2.5 μSv/h	2.5 μSv/h	無	
2	塩化ビニール類	B	05	D	B	0.5 m ³	2.5 μSv/h	2.5 μSv/h	無	
3	保温材	B	06	D	B	0.5 m ³	2.5 μSv/h	2.5 μSv/h	無	
4	不燃シート	B	10	D	B	2.5 m ³	2.5 μSv/h	2.5 μSv/h	無	
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0450
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月28日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/28 12:00	0.5 m ³			1
	3	1	保温材③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/28 12:00	0.5 m ³			1
	4	1	不燃シート③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/28 12:00	2.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事								
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/3/6		測定者			測定器名	ICW-BL		
							管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンガラ	B	02	D	A	4 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メ モ	溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 無筋コンクリート 1台目 4m3									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0452
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月30日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/30 8:25	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐 採 木	状態	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事								
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/3/6	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンガラ	①	②	③	4 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無		
2					m ³					
3					m ³					
4					m ³					
5					m ³					
メ モ	溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 無筋コンクリート 2台目 4m3									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0453
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月30日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/30 9:15	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013101 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事								
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (GI-14 北側)						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/3/6	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンガラ			① B 02 ② D ③ A	4 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無		
2					m ³					
3					m ³					
4					m ³					
5					m ³					
メ モ	溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 無筋コンクリート 1台目 4m3									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0454
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月30日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/30 9:50	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013101 - 0005

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	6号機T/B北東斜面復旧工事								
	発生場所	6号機T/B北東斜面 (G1-14 北側)						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/3/6	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンガラ		B	02	D	A	4 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h
2							m ³			
3							m ³			
4							m ³			
5							m ³			
メモ	溶接金網含む(可能な限り取り除いています) 無筋コンクリート 2台目 4m3									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	03	—	0455
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月30日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/30 10:15	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012909 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1～3号機SFP循環冷却設備信頼性向上対策工事(件名統合により名称変更)								
	発生場所	3号機 SFP旧コンテナ付近					2018/3/20	2018/3/19	2018/3/17	
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/9	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	FI-ICWBL-24
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③						
1	機器・制御盤	B	03	D	A	2 m ²	10 μSv/h	10 μSv/h	無	
2	不燃ごみ	B	10	D	A	1 m ³	10 μSv/h	10 μSv/h	無	
3	フレキシブルチューブ	B	10	D	A	1 m ³	10 μSv/h	10 μSv/h	無	
4	金属ゴミ	B	01	D	A	1 m ³	10 μSv/h	10 μSv/h	無	
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0457
				2018/3/20
調整後保管日時		2018年3月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	FI-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器・制御盤 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/26 10:40	1 m ²			1
	2	1	不燃ごみ ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/26 10:40	0.5 m ³			1
	3	1	フレキシブルチューブ ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/26 10:40	0.5 m ³			1
	4	1	金属ゴミ ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/26 10:40	1 m ³			1
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0006				
作業主	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	8:30		承認	審査	作成					
	作業件名	大型土嚢運搬業務委託												
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7				
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
管	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
	① ② ③													
	1	金属ガラ	B	01	D	A	2	m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
	2	ホース類	B	08	D	A	0.5	m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
3	不燃物その他	B	10	D	A	2	m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
4	塩化ビニール類	B	05	D	A	0.5	m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
5							m ³							
メ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0459
				2018/3/8
調整後保管日時		2018年3月30日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管実績 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	金属ガラ ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 8:45	2 m ³			1
2	1	ホース類 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 8:45	0.5 m ³			1
3	1	不燃物その他 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 8:45	1 m ³			1
4	1	塩化ビニール類 (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアO	2018/3/30 9:00	0.5 m ³			2
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A 可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
			B 不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C 難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—			
	D 伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0051

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タンク増設に伴う構内配電線移設H29								
	発生場所	J9タンクエリア及び登録センター近傍						2018/3/8	2018/3/8	2018/3/8
	作業主管G	配電・電路グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/5	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-052
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	ケーブル	B	08	D	B	3 m	0.01 μ Sv/h	0.01 μ Sv/h	無	
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0462
				2018/3/8
調整後保管日時		2018年3月26日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/26 11:55	3 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013206 - 0007					
作業主管理	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	12:00		承認	審査	作成						
	作業件名	電灯照明取替													
	発生場所	5号機T/B 1FL、運用補助共用施設 屋上						2018/3/8	2018/3/8	2018/3/8					
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
線量測定	線量測定年月日	2018/3/8		測定者			測定器名	電離箱サーベイメーター		管理番号	F1-ICW-371				
	No.	保管物名			※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
					①	②	③								
1	照明器具			B	01	D	A	0.45	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
2	照明器具(笠)			B	01	D	A	0.05	m	0.01	mSv/h	0.03	mSv/h	無	
3	照明器具(ガード)			B	01	D	A	0.41	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
4	照明器具付属品(金具)			B	01	D	A	0.05	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
5	照明器具付属品(可とう管)			B	10	D	A	0.01	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
メモ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受付番号											
廃2018	—	03	—	0463						2018/3/8	
調整後保管日時					2018年3月30日					12:00	
【保管時の指示事項等】											

線量測定内容											
測定日	2018年3月30日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-025								
2											
3											
4											

保管実績	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
入欄	1	1	照明器具 ⑩	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 12:35	0.45	m			1
	2	1	照明器具(笠) ⑩	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 12:35	0.05	m			1
	3	1	照明器具(ガード) ⑩	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 12:35	0.41	m			1
	4	1	照明器具付属品(金具) ⑩	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 12:35	0.05	m			1
	5	1	照明器具付属品(可とう管) ③	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 12:35	0.01	m			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メモ																

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —			
				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —					
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —					
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)															
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。															
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。															

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6	電線	B	08	D	A	0.05	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	7	照明器具ソケット	B	03	D	A	0.03	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	8	ブレーカー	B	03	D	A	0.01	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	9	安定器	B	03	D	A	0.01	m	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	10							m					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0463

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	電線 ⑩	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 12:35	0.05	m			1
	7	1	照明器具ソケット ③	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 12:35	0.03	m			1
	8	1	ブレーカー ③	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 12:35	0.01	m			1
	9	1	安定器 ⑩	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 12:35	0.01	m			1
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
	C 難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0024		固体廃棄物管理G記入欄		受付										
作業主管理	保管希望日時		2018年3月30日		(金)		9:30		承認		審査		作成											
	作業件名		H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																					
	発生場所		残Con処理場エリア						2018/3/8		2018/3/8		2018/3/8											
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL															
	元請会社						担当者		TEL															
	線量測定年月日		2018/3/7		測定者				測定器名		電離箱式サーベイメーター		管理番号		F1-GMAD-132									
記入欄	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率										
	1		B 02 D B			15 m ²		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無												
	2					m ²																		
	3					m ²																		
	4					m ²																		
	5					m ²																		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																								
線量測定内容																								
測定日		2018年3月30日																						
測定No.		氏名		測定器		管理番号																		
1				ICW		F1-ICW-025																		
2																								
3																								
4																								
保管実績記入欄	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		コンクリートガラ①		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC		2018/3/30 9:10		5 m ²						1	
	1		2		コンクリートガラ①		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC		2018/3/30 9:25		5 m ²						1	
	1		3		コンクリートガラ①		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC		2018/3/30 9:55		5 m ²						1	
																	m ²							
																	m ²							
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
※カテゴリ																								
①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 -												
				06 -		07 -		08 -		09 -		10 -												
		B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類												
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他												
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 -		14 -		15 -												
		C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 -												
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -												
		D 伐採木																						
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」														
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0026

作業主管理	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	8:00		承認	審査	作成
	作業件名	HTI浄化ライン増設工事(1F-1~4号機 タービン建屋浄化ライン他設置工事)							
	発生場所	HTI建屋 4号タービン建屋					2018/3/8	2018/3/8	2018/3/8
	作業主管G	処理設備グループ			監理員			TEL	
	元請会社				担当者			TEL	
G	線量測定年月日	2018/3/7	測定者			測定器名	電離箱式サーバイメータ	管理番号	F1-ICW-158F1-ICW-BL-69
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
記入欄	1	可燃物(紙・ウエス類)	A 01	W B	0.4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h
	2	可燃物(プラ・ポリ)	A 02	D B	0.4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h
	3	不燃物(土砂類)	B 04	D A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.3 mSv/h
	4	難燃物(難燃シート)	C 02	D B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h
	5	難燃物その他	C 04	D B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
メモ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	03	—	0475
				2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月30日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(紙・ウエス類)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	80 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/30 8:05	0.4 m ²			1
	2	1	可燃物(プラ・ポリ)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	130 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/30 8:05	0.4 m ²			1
	3	1	不燃物(土砂類)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	250 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/30 8:05	0.1 m ²			1
	4	1	難燃物(難燃シート)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/30 8:05	0.2 m ²			1
	5	1	難燃物その他	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	50 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/30 8:05	0.1 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
	注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
	注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。														

瓦礫類 · 伐採木管理票

計上No. 6013705 - 0016

作業主 管 欄	保管希望日時	2018年3月26日				(月)	10:00				承認		審査		作成		
	作業件名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置															
	発生場所	地下水バイパス揚水井エリア										2018/3/9		2018/3/9		2018/3/9	
	作業主管 G	地下水対策グループ						監理員				TEL					
	元請会社							担当者				TEL					
G 記 入 欄 メモ	線量測定年月日	2018/3/8		測定者				測定器名		電離箱測定器		管理番号		F1-ICWBL-4			
	No.	保管物名				※カテゴリ		物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
		①		②		③											
	1	紙類		A	01	D	B	3	m ²	0.04	mSv/h	0.004	mSv/h	無			
	2	可燃物その他		A	04	D	B	1	m ²	0.04	mSv/h	0.004	mSv/h	無			
	3							m ²									
	4							m ²									
	5							m ²									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0479	
					2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月26日			10:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/26 10:00	1.3	m ³			1
	2	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/26 10:00	0.9	m ³			1
													m ³			
													m ³			
														m ³		

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥、W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0016

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月26日		(月)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置									
	発生場所	地下水バイパス揚水井エリア						2018/3/9	2018/3/9	2018/3/9	
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/8	測定者			測定器名	電離箱測定器		管理番号	F1-ICWBL-4	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	プラスチック・ポリ・ビニール類			A	02	D	B	3 m	0.04 mSv/h	0.004 mSv/h	無
2	木材類(パレット)			A	03	D	B	2 m	0.04 mSv/h	0.004 mSv/h	無
3								m			
4								m			
5								m			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0480
				2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月26日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/26 12:30	3 m			1
	2	1	木材類(パレット)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/26 12:30	0.2 m			1
									m			
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010303 - 0001																																																																																																									
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月27日		(火)		9:30		承認		審査		作成																																																																																																						
	作業件名		1～4号機用設備防護システム機器賃貸借(8次リース)(H29)																																																																																																																
	発生場所		構内南北周辺監視区域柵周辺						2018/3/5		2018/3/5		2018/3/5																																																																																																						
	作業主管G		防護管理グループ				監理員		TEL																																																																																																										
	元請会社						担当者		TEL																																																																																																										
	線量測定年月日		2018/2/5		測定者				測定器名		電離箱サーベイメータ		管理番号 F1-ICW-052																																																																																																						
	No.		※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																				
	1		機器類・制御盤類				4 m ²		2 μ Sv/h		2 μ Sv/h		無																																																																																																						
	2		金属ガラ				1 m ²		1 μ Sv/h		1.5 μ Sv/h		無																																																																																																						
	3						m ²																																																																																																												
4						m ²																																																																																																													
5						m ²																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年3月27日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="2">F1-ICW-025</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>														線量測定内容					測定日	2018年3月27日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICW	F1-ICW-025		2					3					4																																																																							
線量測定内容																																																																																																																			
測定日	2018年3月27日																																																																																																																		
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																
1		ICW	F1-ICW-025																																																																																																																
2																																																																																																																			
3																																																																																																																			
4																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保管 実績 記入 欄 メ モ</th> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">枝 番</th> <th rowspan="2">保管物名</th> <th colspan="2">測定場所 雰囲気線量率</th> <th colspan="2">表面線量率</th> <th colspan="2">$\beta + \gamma$ 線量率</th> <th rowspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">保管日時</th> <th rowspan="2">物 量</th> <th rowspan="2">再利用/ 減容可否</th> <th rowspan="2">コンテナNo.</th> <th rowspan="2">測定No.</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>機器類・制御盤類 ⑩</td> <td>5</td> <td>μ Sv/h</td> <td>5</td> <td>μ Sv/h</td> <td></td> <td></td> <td>エリアC</td> <td>2018/3/27 9:00</td> <td>4 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td>金属ガラ ⑩</td> <td>5</td> <td>μ Sv/h</td> <td>5</td> <td>μ Sv/h</td> <td></td> <td></td> <td>エリアC</td> <td>2018/3/27 9:00</td> <td>1 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載</p>														保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.								1	1	機器類・制御盤類 ⑩	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/3/27 9:00	4 m ²			1		2	1	金属ガラ ⑩	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/3/27 9:00	1 m ²			1													m ²																m ²																m ²			
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否					コンテナNo.	測定No.																																																																																																
	1	1	機器類・制御盤類 ⑩	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/3/27 9:00	4 m ²			1																																																																																																				
	2	1	金属ガラ ⑩	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/3/27 9:00	1 m ²			1																																																																																																				
												m ²																																																																																																							
												m ²																																																																																																							
												m ²																																																																																																							

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
		注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010303 - 0001

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月27日		(火)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機用設備防護システム機器賃貸借(8次リース)(H29)								
	発生場所	構内南北周辺監視区域柵周辺					2018/3/5	2018/3/5	2018/3/5	
	作業主管G	防護管理グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-052	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	機器類・制御盤類(工業用カメラ)	B	03	D	A	2 m ²	1 μSv/h	1.5 μSv/h	無	
2	機器類・制御盤類(赤外センサー)	B	03	D	A	1 m ²	45 μSv/h	55 μSv/h	無	
3	金属ガラ	B	01	D	A	1 m ²	45 μSv/h	55 μSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0484
				2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類(工業用カメラ) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/27 10:30	0.5 m ²			1
	2	1	機器類・制御盤類(赤外センサー) ③	5 μSv/h	8 μSv/h		エリアC	2018/3/27 10:30	0.5 m ²			1
	3	1	金属ガラ ⑩	5 μSv/h	8 μSv/h		エリアC	2018/3/27 10:30	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0016

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F フランジタンク除染設備設置								
	発生場所	大型機器メンテナンス建屋						2018/3/8	2018/3/8	2018/3/8
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/3/5	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-129
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	番線	B	01	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	鉄くず	B	01	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	切粉	B	01	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	セメント粉	B	02	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	防災シート	B	10	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0485
				2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月28日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	番線 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 8:30	0.2 m ²			1
	2	1	鉄くず ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 8:30	0.2 m ²			1
	3	1	切粉 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 8:30	0.1 m ²			1
	4	1	セメント粉 ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 8:30	0.1 m ²			1
	5	1	防災シート ③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/28 8:30	0.2 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	不燃シート	B	10	D	B	0.2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	7	コーキング材容器	B	10	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	8	砥石	B	10	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	9							m ²							
	10							m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0485

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013707 - 0026	
作業主管理	保管希望日時	2018年3月30日 (金)			11:00		承認	審査	作成				
	作業件名	HTI浄化ライン増設工事(1F-1~4号機 タービン建屋浄化ライン他設置工事)											
	発生場所	HTI建屋 4号タービン建屋					2018/3/9	2018/3/9	2018/3/9				
	作業主管G	処理設備グループ					監理員			TEL			
	元請会社						担当者			TEL			
線量測定	線量測定年月日	2018/2/27		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-117F1-ICW-BL-103		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	紙・ウエス類			A 01	D B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
	2	可燃物その他			A 04	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
	3	不燃物その他			B 10	D B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
入欄	4	難燃物その他			C 04	D B	0.4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
	5	難燃物(ゴム類)			C 01	D B	0.4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
メモ	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

線量測定内容											
測定日	2018年3月30日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-158								
2		ICWBL	F1-ICWBL-120								
3		ICWBL	F1-ICWBL-55								
4											

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
入欄	1	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/30 10:30	0.3	m ²			1
	2	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/30 10:30	0.1	m ²			1
	3	1	不燃物その他 ③	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/3/30 9:20	0.3	m ²			3
	4	1	難燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/30 10:30	0.7	m ²			2
	5	1	難燃物(ゴム類)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/30 10:30	0.2	m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —		
			06 —		07 —		08 —		09 —		10 —		
			B 不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C 難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —				
	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013707 - 0035

作業主管理	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	プロセス建屋濃縮器乾燥用テルハ他点検(仮名)								
	発生場所	プロセス建屋及び高温焼却建屋						2018/3/9	2018/3/9	2018/3/9
	作業主管G	処理設備グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
線量測定年月日	2018/3/8	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123	
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物	A 01	W B	0.2 m ³	0.006 mSv/h	0.025 mSv/h	β 有	0.5 mSv/h	
	2	可燃物	A 02	D B	0.2 m ³	0.006 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.025 mSv/h	
入欄	3	難燃物	C 02	W B	0.2 m ³	0.006 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	0.035 mSv/h	
	4	難燃物	C 01	D B	0.2 m ³	0.006 mSv/h	0.008 mSv/h	β 有	0.015 mSv/h	
	5	不燃物	B 01	D B	0.1 m ³	0.006 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	0.015 mSv/h	
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	03	—	0492
				2018/3/12
調整後保管日時		2018年3月30日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	150	μ Sv/h			0.2	m ³			
入欄	1	1	可燃物	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	150	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/30 10:25	0.2	m ³			1
	2	1	可燃物	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/30 10:25	0.2	m ³			1
	3	1	難燃物	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	25	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/30 10:25	0.2	m ³			1
	4	1	難燃物	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/30 10:25	0.2	m ³			1
	5	1	不燃物	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	エリアW1	2018/3/30 10:25	0.1	m ³			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メモ																

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6015502	-	0001
-------	---------	---	------

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0493	
調整後保管日時		2018年3月30日			2018/3/12
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

作業主	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	12:00		承認		審査		作成					
	作業件名	雑固体廃棄物焼却設備修理工事														
主	発生場所	雑固体廃棄物焼却設備建屋						2018/3/11		2018/3/11		2018/3/10				
	作業主管 G	廃棄物設備グループ				監理員		TEL								
管	元請会社					担当者		TEL								
	線量測定年月日	2018/3/6		測定者		測定器名		ICW BL		管理番号		F1-ICWBL-44				
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率			
	①		②		③											
記入欄	1	金属ガラ		B	01	D	B	1	m ²	0.001	mSv/h	0.001	mSv/h	無		
	2								m ²							
	3								m ²							
	4								m ²							
	5								m ²							
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。															

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ ⑩	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアC	2018/3/30 11:40	1	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015502 - 0001		
作業主管理	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	雑固体廃棄物焼却設備修理工事										
	発生場所	雑固体廃棄物焼却設備建屋						2018/3/11	2018/3/11	2018/3/10		
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
線量測定	線量測定年月日	2018/3/8		測定者			測定器名	TCS-172		管理番号	F1-SC-148	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
	① ② ③											
	1	不燃物(機器類)			1 m ³	2 μ Sv/h	2.5 μ Sv/h	無				
	2	不燃物(金属ガラ)			2 m ³	2 μ Sv/h	2.5 μ Sv/h	無				
3				m ³								
4				m ³								
5				m ³								
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0494
				2018/3/12
調整後保管日時		2018年3月30日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
2	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/30 11:20	1 m ³				1
								m ³				
								m ³				
								m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0012

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月26日		(月)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	仮設設備交換所電源防護対策工事								
	発生場所	五差路周辺					2018/3/12	2018/3/12	2018/3/12	
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/12	測定者			測定器名	ICW		管理番号 F1-ICW-046	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	木材	A	03	D	B	2 m	4 μ Sv/h	4 μ Sv/h	無	
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0500
				2018/3/13
調整後保管日時		2018年3月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/26 9:20	2 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年3月26日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	1F構外西門造成エリア					2018/3/13	2018/3/13	2018/3/13	
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/12	測定者			測定器名	SC		管理番号 F1-SC-140	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	可燃物その他	A	04	D	A	1 m	2 μSv/h	10 μSv/h	無
2						m				
3						m				
4						m				
5						m				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0501
				2018/3/13
調整後保管日時		2018年3月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/26 10:35	1.2 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	1F構外西門造成エリア						2018/3/13	2018/3/13	2018/3/13
	作業主管G	トレンチ対策グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/3/12	測定者			測定器名	SC		管理番号	F1-SC-140
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③						
1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m ³	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
2	可燃物その他	A	04	D	A	1 m ³	2 μSv/h	10 μSv/h	無	
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0502
				2018/3/13
調整後保管日時		2018年3月28日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/28 10:00	0.1 m ³			1
	2	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/28 10:00	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木	02	伐採木(幹・根)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事									
	発生場所	1F構外西門造成エリア						2018/3/13	2018/3/13	2018/3/13	
	作業主管G	トレンチ対策グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/12	測定者			測定器名	SC		管理番号	F1-SC-140	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	紙・ウエス類			A	01	D	B	0.5 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無
2	可燃物その他			A	04	D	A	1 m ²	2 μ Sv/h	10 μ Sv/h	無
3											
4											
5											
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0503
				2018/3/13
調整後保管日時		2018年3月30日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/30 12:35	0.2 m ²			1
	2	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/30 12:35	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0002

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F使用済保護衣等分別・減容・保管業務委託								
	発生場所	測定建屋集積分						2018/3/13	2018/3/13	2018/3/13
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/3/12	測定者			測定器名	β・γ線量測定器		管理番号	F1-ICWBL-100
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
1	重汚染保護衣等(難燃物含む)		A	04	D	B	20 m ³	5 μSv/h	90 μSv/h	無
2							m ³			
3							m ³			
4							m ³			
5							m ³			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0504
				2018/3/13
調整後保管日時		2018年3月28日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	重汚染保護衣等(難燃物含む)	10 μSv/h	20 μSv/h		エリアW1	2018/3/28 10:00	20 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012320 - 0002		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月28日		(水)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F使用済保護衣等分別・減容・保管業務委託										
	発生場所	測定建屋集積分						2018/3/13	2018/3/13	2018/3/13		
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/3/12	測定者			測定器名	β・γ線量測定器		管理番号	F1-ICWBL-100		
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	重汚染保護衣等(難燃物含む)		A	04	D	B	20 m ²	5 μSv/h	90 μSv/h	無		
2							m ²					
3							m ²					
4							m ²					
5							m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0505	2018/3/13
調整後保管日時		2018年3月28日			11:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				10 μSv/h	90 μSv/h										
1	1		重汚染保護衣等(難燃物含む)	10 μSv/h	90 μSv/h					エリアW1	2018/3/28 11:30	20 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。